

## 「血管病理研究会」記録集の掲載にあたって

「血管病理研究会」は、血管炎を中心にした血管疾患の臨床病理学的研究の推進、とくに血管疾患を病理組織学的に正確かつ的確に診断して、この分野の医療の質の向上に寄与することを目的に発足し、運営されてきました。これまで10回の研究会を開催し、貴重な症例や優れた研究成果が発表されてきましたが、その成果の記録、集積、またその出版は十分ではありませんでした。そこで、ここに日本脈管学会のご理解とご協力により、本研究会で発表された演題を記録集として日本脈管学会機関誌「脈管学」に掲載していただくこととなりましたので、これまでの本研究会のプログラムを記録集としてまとめるとともに、本研究会の発足とその後の経緯、また「脈管学」に掲載されるに至った経過について略述しておきます。

「血管病理研究会」の前身である「血管炎研究会」が、平成8年、小泉富美朝先生(富山医科薬科大学医学部第2病理前教授)と発地雅夫先生(信州大学医学部第2病理前教授)を発起人として誕生しました。その最大の契機は、平成7年まで永く続いていた厚生省特定疾患調査研究班の1つである「難治性血管炎調査研究班 病理分科会」が平成8年に免疫疾患調査研究班難治性血管炎分科会に改組されたことにあります。それまでの血管炎に関する病理分科会が果たしていた多くの役割のなかでも、とくにわが国における血管炎の病理診断学の維持、発展とこの分野の若手病理医の育成を継承していくことを目標に本研究会がスタートし、その後、血管病学の基礎的、臨床的研究のグローバル化に対応させるべく研究対象を血管炎から血管疾患全般に広げ、平成14年から「血管病理研究会」に名称を変更して現在に至っています。

一方、わが国における血管病理学に携わる研究者が日本病理学会を軸にしつつ多くの血管病学に関連する専門学会で活躍してきましたが、なかでも日本脈管学会は最も繋がり深い学会の1つです。総会プログラムへの参加のみならず関連研究会の1つとして「脈管病理の集い」が昭和60年(第27回総会：上野 明会頭、山梨医科大学第2外科前々教授)から平成12年(第41回総会：多田祐輔会頭、山梨医科大学第2外科前教授)まで、エーザイ株式会社の支援のもとに前後15回の研究会が開催されました。病理医を中心に多くの基礎、臨床研究者が集まり、関連する分野の最新トピックスについて直截で忌憚のない討論が行われることを特徴とした集会でした。

このような経緯を踏まえて、平成17年「第10回血管病理研究会」開催時の世話人会でこれまでのプログラムを記録集としてまとめ、日本脈管学会機関誌「脈管学」に掲載していただく旨の要望が決議され、日本脈管学会にその協議をお願いしていました。

この度、快諾していただき「血管病理研究会」記録集が日本脈管学会機関誌「脈管学」に掲載される運びとなりましたが、「血管病理研究会」からの要望に対して常に前向きにご尽力いただいた日本脈管学会の矢崎義雄理事長をはじめ多くの関係者、とりわけ編集委員会委員長の重松 宏理事、宮田哲郎幹事に深甚の謝意を表します。今後、血管病に関する研究が日本脈管学会、そして血管病理研究会を中心にますます発展し、両学術集会の有機的連携のもと、医学的のみならず社会的に一層重要性を増す血管病研究において世界をリードする研究成果が日本から発信されることを切望します。

(文責：「血管病理研究会」事務局 居石克夫  
九州大学大学院医学研究院 病理病態学分野)

第1回血管炎研究会(世話人:小泉富美朝)

期 日:平成8年11月24日(日)10:00~16:00

会 場:富山医科薬科大学医学部 臨床講義室(2)

#### プログラム

座長:小泉富美朝(富山医科薬科大学 第2病理)10:00~11:40

1. 全身性クリオグロブリン血症性血管炎の1例  
佐藤英俊,立野正敏,深澤雄一郎,高田明生(市立札幌病院 病理科)
2. 臨床的にTTPと診断され,剖検上,フィブリノイド血管炎が主として小動脈にみられた1例  
西川純子,鈴木晟幹,嶋田裕之(東京医科大学 第1病理)
3. 悪性腫瘍病巣に接近してみられた血管炎について  
福田純也(川崎市立川崎病院 検査科)
4. 肺胞壁の壊死性毛細管炎の病理組織学的検討  
秋草文四郎(千葉大学医学部 第2病理)
5. 皮膚アレルギー性血管炎の免疫病理学的研究  
石 奕普,本間正教,小泉富美朝(富山医科薬科大学 第2病理)

座長:発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)12:40~14:40

6. 急性前骨髄性白血病治療中に発症した壁内血栓形成を伴った虚血性小腸病変の1例  
松本俊治,桑原紀之,岡田 基(順天堂大学医学部 第1病理)
7. 脳に異常沈着物を伴った全身性巨細胞性動脈炎の1剖検例  
佐野健司,伊藤 誠,発地雅夫,羽田 恆(信州大学医学部 第2病理)
8. パルサルバ洞破裂を来した大動脈炎の1剖検例  
能勢真人(東北大学医学部 第1病理)
9. 川崎病の実験病理学的研究  
青木重久(愛知医科大学 第2病理)
10. 小児の動脈炎  
直江史郎,高橋 啓,大原関利章(東邦大学大橋病院 病理)
11. 原発性抗燐脂質抗体症候群における血管病変・腎糸球体病変の検討  
中林公正,斉藤元章(杏林大学医学部 第1内科)

第2回血管炎研究会(世話人:発地雅夫)

期 日:平成9年10月4日(土)10:00~16:50

会 場:信州大学医学部附属病院 東病棟9階会議室

#### プログラム

座長:小泉富美朝(富山医科薬科大学 第2病理)10:00~11:00

1. 顕微鏡的結節性多発性動脈炎の1例 当科アナフィラクトイド紫斑との比較  
石川 治,宮地良樹(群馬大学医学部 皮膚科)
2. 壊死性半月体形成性糸球体腎炎を合併したChurg-Strauss症候群の1例  
下釜達朗<sup>1</sup>,長田道夫<sup>1</sup>,渡辺照男<sup>1</sup>,戸村成男<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大学基礎医学系 病理,<sup>2</sup>筑波大学社会医学系)
3. MPO-ANCA高値を示したMPAの1剖検例における肺胞毛細血管病変  
小泉富美朝,倉持洋一(富山医科薬科大学 第2病理)

座長：佐藤英俊( 市立札幌病院 病理科 )11:00 ~ 12:00

4. 胃と肺にMPO陽性細胞の浸潤の認められたPN症例

吉原 堅<sup>1</sup>, 横山啓太郎<sup>1</sup>, 乳原善文<sup>1</sup>, 香取秀幸<sup>1</sup>, 竹本文美<sup>1</sup>, 原 茂子<sup>1</sup>, 山田 明<sup>1</sup>, 蓑田清次<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>虎の門病院 腎センター内科, <sup>2</sup>自治医科大学 アレルギー膠原病科)

5. 異なった臨床経過を呈したP-ANCA陽性RPGNの2例

直江史郎<sup>1</sup>, 高橋 啓<sup>1</sup>, 大原関利章<sup>1</sup>, 渋谷和俊<sup>1</sup>, 若山 恵<sup>1</sup>, 深沢祐之<sup>2</sup>, 長谷弘記<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東邦大学大橋病院 病院病理, <sup>2</sup>東邦大学医学部 第3内科)

6. P-ANCA陽性腎炎20例のまとめと初期病変の検討

佐藤英俊( 市立札幌病院 病理科 )

座長：福田純也( 市立川崎病院 検査科 )13:00 ~ 14:00

7. P-ANCA陽性であった2剖検例におけるそれぞれ異なった血管病変について

西川純子, 錦鍋維男, 嶋田裕之( 東京医科大学 第1病理 )

8. micro PN 2剖検症例の病理学的検討

野中大輔, 中島 豊, 居石克夫( 九州大学医学部 第1病理 )

9. P-ANCA陽性で半月体形成性糸球体腎炎のみられたPNの2例

渡辺正秀<sup>1</sup>, 発地雅夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>長野赤十字病院 病理部, <sup>2</sup>信州大学医学部 第2病理)

座長：中林公正( 杏林大学医学部 第1内科 )14:00 ~ 15:00

10. 当院におけるP-ANCA陽性肺腎症候群の2剖検例

折井恭子( 松本協立病院 呼吸器科 )

11. 腎動脈, 胃十二指腸動脈の動脈瘤破裂を繰り返し, 肺胞出血にて死亡したP-ANCA陽性の1症例

大岡正道<sup>1</sup>, 鈴木康夫<sup>1</sup>, 大矢直子<sup>1</sup>, 前山史朗<sup>2</sup>, 福田純也<sup>3</sup>, 松原 修<sup>4</sup>, 市川陽一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学 内科学・臨床検査医学, <sup>2</sup>同 病理, <sup>3</sup>市立川崎病院 病理, <sup>4</sup>防衛医科大学校 第2病理)

12. 抗MPO抗体関連4血管炎症例の剖検時血管炎所見について

中林公正( 杏林大学医学部 第1内科 )

座長：直江史郎( 東邦大学大橋病院 病院病理 )15:10 ~ 16:10

13. 壊死性血管炎を合併した原発性アミロイドーシスの1剖検例

鷓山秀人<sup>1</sup>, 椎木英夫<sup>1</sup>, 土肥和紘<sup>1</sup>, 下釜達朗<sup>2</sup>, 渡辺照男<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>奈良県立医科大学 第1内科, <sup>2</sup>筑波大学基礎医学系 病理)

14. 限局性壊死性動脈炎についての私見

福田純也( 市立川崎病院 検査科 )

15. Isolated pulmonary Takayasu arteritisの可能性が示唆された1例

松本俊治<sup>1</sup>, 岡 邦行<sup>2</sup>, 植草利公<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学医学部 第1病理, <sup>2</sup>水戸済生会総合病院 病理, <sup>3</sup>聖路加国際病院 病理)

座長：青木重久( 愛知医科大学加齢医科学研究所 運動器病態部門 )16:10 ~ 16:50

16. 悪性関節リウマチにおける血管病変の実験病理学的研究

青木重久, 野々垣常正( 愛知医科大学加齢医科学研究所 運動器病態部門 )

17. 血管炎モデルマウスの原因遺伝子の解析

能勢真人( 愛媛大学医学部 第2病理 )

第3回血管炎研究会(世話人:福田純也, 亀山香織)

期日:平成10年10月31日(土)9:30~17:00

会場:慶應義塾大学医学部 別館3階 第2会議室

プログラム

座長:小泉富美朝(富山医科薬科大学 第2病理)9:35~10:50

1. 血管炎を伴ったSLEの2剖検例  
青木重久, 野々垣常正(愛知医科大学加齢医科学研究所 運動器病態部門)
2. 14年経過観察中のAGAの1症例  
小泉富美朝(富山医科薬科大学 第2病理)
3. 皮膚血管炎の病理組織学的検討  
松本俊治<sup>1</sup>, 三田村美紀子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学医学部 病理学第1, <sup>2</sup>順天堂医院 臨床検査部病理)

座長:発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)10:50~11:40

4. Segmental arterial mediolysisの2手術例  
伊藤 誠, 宮田和幸, 佐野健司, 発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)
5. いわゆるgiant cell arteritisにより上行大動脈瘤をきたした1例  
中島 豊<sup>1</sup>, 浜野公一<sup>2</sup>, 善甫宣哉<sup>2</sup>, 江里健輔<sup>2</sup>, 居石克夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学医学部 第1病理, <sup>2</sup>山口大学医学部 第1外科)

座長:福田純也(市立川崎病院 検査科)13:20~14:35

6. 古典的PNと鑑別の難しいMPO-ANCA弱陽性全身性血管炎の解剖例2例  
MPO-ANCA陽性例はすべてMicroscopic Polyangiitisと診断してよいか  
佐藤英俊(市立札幌病院 病理科)
7. Systemic vasculitisの分類 Birmingham Conferenceに参加して  
長澤俊彦(杏林大学医学部 第1内科)

追加発言 米国における血管炎研究の現況

秋草文四郎(千葉大学医学部 第2病理)

座長:亀山香織(慶應義塾大学医学部 病理診断部)14:35~15:25

8. 肺線維症, 半月体形成性糸球体腎炎を伴った全身性壊死性動脈炎の1剖検例  
福田純也<sup>1</sup>, 川城丈夫<sup>2</sup>(<sup>1</sup>市立川崎病院 検査科, <sup>2</sup>国立療養所東埼玉病院 内科)
9. 胆嚢に局限した血管炎の1例  
柴田雅彦, 吉木 敬(北海道大学医学部 第1病理)

座長:佐藤英俊(市立札幌病院 病理科)15:40~16:55

10. P-ANCA陽性のNecrotizing crescentic glomerulonephritisの1剖検例  
坂口伸樹, 伊藤 誠, 発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)
11. Microscopic Polyangiitis(MPA)剖検例における腎糸球体病変の病理組織学的検討  
秋草文四郎(千葉大学医学部 第2病理)
12. 両下肢動脈にX線上Buerger病所見を認め, 皮膚生検にて汎血管炎の病理組織像を呈した女性症例  
中林公正, 神谷康司, 江崎よう, 三宅伸之, 大和恒恵, 長澤俊彦  
(杏林大学医学部 第1内科)

第4回血管炎研究会(世話人：佐藤英俊)

期 日：平成11年9月25日(土)9:00～15:00

会 場：市立札幌病院2階 第1会議室 講堂

プログラム

座長：由谷親夫(国立循環器病センター)10:10～10:40

1. 右肺動脈閉塞をきたした高安動脈炎と考えられる49歳女性例

坂口伸樹<sup>1</sup>，伊藤 誠<sup>1</sup>，小林基弘<sup>1</sup>，発地雅夫<sup>1</sup>，福島万奈<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>信州大学医学部 第2病理，<sup>2</sup>甲府共立病院 病理)

2. 梅毒性大動脈瘤が疑われた症例

柴田雅彦，小川弥生，吉木 敬(北海道大学医学部 第1病理)

座長：立野正敏(市立札幌病院)10:40～11:25

3. MPO-ANCA陽性でWegener症候群を呈した症例の鼻，腎組織について

吉田雅治(東京医科大学八王子医療センター 腎臓科)

4. ANCA陽性を示した2生検例の病理学的検討

松本俊治(順天堂大学医学部 第1病理)

5. MPO-ANCA関連腎炎の腎生検でみるnon-capillary vasculitisの頻度

佐藤英俊，立野正敏，高田明生，岸本 充(市立札幌病院 病理科)

座長：直江史朗(東邦大学大橋病院 病理)11:25～11:55

6. P-ANCA陽性で腎と肺の病変を呈したMicroscopic Polyangiitisの1剖検例

秋草文四郎(千葉大学医学部 第2病理)

7. P-ANCA関連血管炎12剖検例の臨床病理学的検討

佐野健司，坂口伸樹，伊藤 誠，発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)

座長：能勢真人(愛媛大学医学部 第2病理)13:00～13:30

8. 実験的冠動脈炎におけるMPO-ANCAについて

高橋 哲<sup>1</sup>，大原関利章<sup>1</sup>，直江史朗<sup>1</sup>，鈴木和男<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東邦大学大橋病院 病理，<sup>2</sup>国立感染症研究所 生体防御物質室)

9. 髄膜炎後半月体形成性系球体腎炎を呈した1剖検例

西川純子，向井 清(東京医科大学 第1病理)

座長：松本俊治(順天堂大学医学部 第1病理)13:30～14:00

10. 肺高血圧症と血管炎

由谷親夫(国立循環器病センター 臨床検査部病理)

11. 抗リン脂質抗体症候群を伴うSLEに全身性壊死性血管炎を合併した1剖検例

宮崎龍彦<sup>1</sup>，路 靈敏<sup>1</sup>，有田典正<sup>1</sup>，能勢真人<sup>1</sup>，大西 誠<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>愛媛大学医学部 第2病理，<sup>2</sup>道後温泉病院 内科)

座長：発地雅夫(信州大学医学部 第2病理)14:20～14:50

12. Vasculo-Behçet病と思われる1例

中林公正<sup>1</sup>，土屋まり<sup>1</sup>，福岡利仁<sup>1</sup>，長澤俊彦<sup>1</sup>，斉藤生郎<sup>2</sup>，小川純己<sup>3</sup>，大畑恵之<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>杏林大学医学部 第1内科，<sup>2</sup>同 病理，<sup>3</sup>稲城市立病院 内科)

13. Buerger's disease様閉塞性大型血管炎に皮膚小型～中型血管炎が併存した1例

西成田進，富田康之，松川吉博，北村 登，青木政紀，金子元英

(日本大学医学部 第1内科)

第5回血管炎研究会(世話人:直江史郎)

期日:平成12年10月13日(金)10:00~17:00

会場:持田製薬本社2階「ルークホール」

プログラム

座長:福田純也(市立川崎病院) 10:20~11:00

1.川崎病に3回罹患し、大量免疫グロブリン療法に不応であった1剖検例

直江史郎,矢島茂裕,高橋 哲,大原関利章

(東邦大学大橋病院 病理学講座,高山赤十字病院 小児科)

2.虫垂炎術後に突然死した1剖検例

星 尚人,南條 博,増田弘毅(由利組合総合病院 病理,秋田大学医学部 第2病理)

座長:佐藤英俊(市立札幌病院) 10:40~11:25

3.巨細胞性血管炎類似病変を呈したAAアミロイドーシスの1剖検例

由谷親夫,福原直也,土肥和紘,小西 登

(国立循環器病センター 臨床検査部病理,奈良県立医科大学 第1内科,同 第2内科)

4.大腸粘膜生検組織標本上,著明な好酸球浸潤及び壊死性血管炎の見られたAGAの1症例

小俣好作,福田純也,田中 昇

(社会保険山梨病院 病理部,PCLジャパン病理・細胞診センター)

座長:吉木 敬(北海道大学) 13:10~14:25

5.血管炎におけるMPO-ANCAと好中球の関与

鈴木和男(国立感染症研究所 生体活性物質部)

6.MPOノックアウトマウスによる川崎病類似血管炎作成実験

大原関利章,高橋 哲,大川原明子,荒谷康昭,鈴木和男,直江史郎

(東邦大学大橋病院 病理学講座,国立感染症研究所 生体活性物質部)

7.大動脈炎,肺動脈炎を示す高好酸球ラットモデル

佐野健司,小林基弘,坂口伸樹,発地雅夫,松本清司

(信州大学医学部 第2病理)

座長:吉田雅治(東京医科大学) 14:25~15:15

8.ANCA関連alveolar capillaritisによると考えられる肺出血の1例:病理学的所見について

佐藤英俊,立野正敏,高田明生,小川弥生(市立札幌病院 病理科)

9.ANCA関連血管炎症候群の開胸肺生検 腎生検の1例

能勢真人,栗原憲二,塩出昌弘(愛媛大学医学部 病理学第2講座,市立宇和島病院)

座長:由谷親夫(国立循環器病センター) 15:35~16:50

10.MPO-ANCA陽性でRPGN,急性呼吸不全を呈した結節性多発動脈炎の1例

吉田雅治(東京医科大学八王子医療センター 腎臓科)

11.腎細動脈に血管炎所見を伴うANCA関連腎炎の1例

石津明洋,高橋利幸,吉木 敬

(北海道大学大学院医学研究科 病態制御学専攻病態解析学講座分子病理学分野)

12.P-ANCA陽性血管炎を示した3剖検例の病理学的検討

松本俊治,阿部 寛,田所洋行,須田耕一(順天堂大学医学部 病理学第1)

第6回血管炎研究会(会長:由谷親夫)

期日:平成13年12月1日(土)10:00~17:00

会場:国立循環器病センター 新館講堂

プログラム

座長:居石克夫(九州大学) 10:00~11:00

1. ヒト培養真皮血管内皮細胞に対する,ヒスタミン誘導性mRNA発現変化の網羅的把握の試み  
森田和政<sup>1</sup>,戸田憲一<sup>2</sup>,宮地良樹<sup>1</sup>(京都大学医学研究科 皮膚科,<sup>2</sup>田附興風会北野病院)
2. 混合性結合組織病における肺高血圧症発症機序の解明  
黒瀬 顕,佐々木信人,澤井高志(岩手医科大学 病理学第1講座)
3. 肺動脈炎で咯血死した全身性サルコイドーシスの1剖検例  
能勢真人,岩崎美津子,工藤 恵,有田典正,大石久史,宮崎龍彦  
(愛媛大学医学部 病理学第2講座)

座長:佐藤英俊(市立札幌病院) 11:00~12:00

4. MPO-ANCA関連血管炎の発症機構の2ステップ  
鈴木和男(国立感染症研究所 生物活性物質部)
5. ANCA関連腎炎における腎血管病変の検討  
フィブリノイド血管炎の分布と臨床像の関連を中心に  
吉田雅治(東京医科大学八王子医療センター 腎臓科)
6. ビュルガー病と高ホモシステイン血症 今後の展開  
川崎富夫<sup>1</sup>,藤村博信<sup>1</sup>,宮田敏行<sup>1</sup>(大阪大学医学部 血管外科,<sup>2</sup>国立循環器病センター研究所)

座長:由谷親夫(国立循環器病センター) 13:00~14:00

7. 特別講演 血管炎の形態発生について  
発地雅夫(信州大学名誉教授)

座長:浅田祐士郎(宮崎医科大学) 14:00~15:00

8. Goodpasture症候群を呈したGBM抗体とPR-3-ANCA陽性の1例  
佐藤英俊<sup>1</sup>,立野正敏<sup>1</sup>,高田明生<sup>1</sup>,小川弥生<sup>1</sup>,吉木 敬<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>市立札幌病院 病理科,<sup>2</sup>北海道大学医学部 病態・分子病理)
9. 迅速組織診断と同時施行のANCA測定(蛍光抗体法)でWegener肉芽腫症と診断した1例  
小川弥生,佐藤英俊,高田明生,立野正敏(市立札幌病院 病理科)
10. 全身性単純ヘルペス感染症を合併したアレルギー性肉芽腫性血管炎の1剖検例  
新宅雅幸<sup>1</sup>,梅原 泰<sup>2</sup>,大崎往夫<sup>2</sup>,祝迫恵子<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>大阪赤十字病院 病理部,<sup>2</sup>同 内科,<sup>3</sup>同 外科)

座長:増田弘毅(秋田大学) 15:20~16:20

11. 全身性エリテマトーデス慢性関節リウマチのOverlap症例に肺静脈血栓性閉塞症を来した1剖検例  
中林公正,有村義宏,土屋まり,石塚俊二,長澤俊彦(杏林大学医学部 第1内科学)
12. 先天性房室ブロックを示した新生児ループスの1例  
住吉真治<sup>1</sup>,有吉和也<sup>2</sup>,松本直子<sup>3</sup>,井上和彦<sup>3</sup>,中島 豊<sup>1</sup>,居石克夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院 病理病態学,<sup>2</sup>同研究院 形成機能病理学,<sup>3</sup>九州大学医学部附属病院 小児科)
13. 特発性好酸球増多症に伴う心内膜心筋炎の1剖検例  
佐藤勇一郎<sup>1</sup>,林 透<sup>1</sup>,牧野茂義<sup>2</sup>,福永隆司<sup>2</sup>,浅田祐士郎<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>県立宮崎病院 臨床検査科病理,<sup>2</sup>同 内科,<sup>3</sup>宮崎医科大学 病理学第1講座)

座長：能勢真人(愛媛大学) 16:20～17:00

14. 川崎病冠状動脈の1つの枝に見られた毛細血管との直接連絡路・動脈のAngiogenesisが  
増田弘毅, H-F Hong, 南條 博(秋田大学医学部 第2病理)

15. ベーチェット病によると考えられた大腿動脈仮性瘤の病理学的検討  
石津明洋<sup>1</sup>, 村上達哉<sup>2</sup>, 吉木 敬<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>苫小牧王子総合病院 心臓血管外科, <sup>2</sup>北海道大学大学院医学研究科 病態・分子病理学)

#### 「基盤研究A(1)」

(研究課題：血管炎症候群の分子メカニズムの解析と新たな病理形態学的基盤の確立) 研究班

期 日：平成14年2月16日(土)14:00～18:00

平成14年2月17日(日)9:00～12:00

会 場：私学事業団道後保養所「しらすぎ荘」

平成14年2月16日(土)14:00～18:00

公開セミナー「血管炎研究の新たな展開」

座長：発地雅夫(信州大学)

ANCA関連血管炎(14:00～14:40)

基調講演：中林公正(杏林大学)

病的血管新生の分子機構(14:40～15:20)

基調講演：居石克夫(九州大学)

座長：直江史郎(東邦大学)

レトロウイルスによる血管炎発症機構(15:20～16:00)

基調講演：吉木 敬(北海道大学)

血管炎のゲノミクス(16:00～16:40)

基調講演：能勢真人(愛媛大学)

座長：能勢真人(愛媛大学)

特別講演(17:00～18:00)

京極方久(東北大学名誉教授)

「これからの血管炎研究への期待 温故知新」

平成14年2月17日(日)9:00～12:00

研究報告(1) 9:00～10:15)

座長：由谷親夫(国立循環器病センター)

抗リン脂質抗体症候群，顕微鏡的多発動脈炎における血管炎・臓器病変並びに皮膚血管炎の病理学的  
研究(9:00～9:15)

松本俊治(順天堂大学)

川崎病冠状動脈障害における好中球elastase, MMP-9の関与(9:15～9:30)

高橋 啓, 大原関利章, 若山 恵, 渋谷和俊, 直江史郎(東邦大学)

心冠状動脈硬化巣の内膜下と外膜側における炎症細胞の分布の検討(9:30～9:45)

渡邊 信(神戸大学)

混合性結合組織病における肺高血圧症機序の解明(9:45～10:00)

黒瀬 顕, 佐々木信人, 澤井高志(岩手医科大学)

高安動脈炎の遺伝要因(10:00～10:15)

小林 靖(東京医科歯科大学)

研究報告(2)(10:30~11:45)

座長：松本俊治(順天堂大学)

高安動脈炎における浸潤細胞の解析(10:30~10:45)

由谷親夫(国立循環器病センター)

ヒスタミンによる血管内皮透過性制御機構についての研究(10:45~11:00)

森田和政<sup>1</sup>，戸田憲一<sup>2</sup>，宮地良樹(<sup>1</sup>京都大学，<sup>2</sup>田附興風会北野病院)

Candida albicans誘導マウス系統的血管炎モデルにおける血管炎抑制遺伝子の染色体マッピング  
(11:00~11:15)

大原関利章<sup>1</sup>，高橋 啓<sup>1</sup>，橋本ゆき<sup>2</sup>，亀岡洋祐<sup>2</sup>，倉 文明<sup>2</sup>，鈴木和男<sup>2</sup>，直江史郎<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東邦大学，<sup>2</sup>国立感染研究所)

結合組織細胞の血管内皮細胞への分化(11:15~11:30)

藤原 隆<sup>1</sup>，樫木勝巳<sup>1</sup>，昆 和典(愛媛大学，<sup>2</sup>愛媛県立医療技術短期大学)

MRL/lprマウスの血管炎におけるケモカインの発現とケモカインアンタゴニストを用いた血管炎抑制効果  
(11:30~11:45)

長谷川均，河野政志，佐々木美穂(愛媛大学)

第7回血管病理研究会(会長：居石克夫)

期 日：平成14年10月12日(土)10:00~17:20

会 場：九州大学医学部 同窓会館

プログラム

座長：能勢真人(愛媛大学) 10:00~11:00

1. 小児に発生したMicroscopic Polyangiitis(MPA)の1例

森 大輔，徳永 蔵(佐賀医科大学 病理学教室)

2. 難聴で発症し古典的結節性多発動脈炎でミエロペルオキシダーゼに対する抗好中球細胞質抗体  
(MPO-ANCA)陽性の1症例

渡辺喜彦，湯村和子，内田啓子，新田孝作，二瓶 宏(東京女子医科大学 第4内科)

3. MPO-ANCA陽性腎生検にみる血管炎について

佐藤英俊<sup>1</sup>，高田明生<sup>1</sup>，小川弥生<sup>1</sup>，田原正彦<sup>1</sup>，立野正敏<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>市立札幌病院 病理科，<sup>2</sup>旭川医科大学 第2病理)

座長：佐藤英俊(市立札幌病院) 11:00~12:00

4. MPO-ANCA，PR3-ANCA，抗GBM抗体および抗カルジオリピン抗体陽性の顕微鏡的多発血管炎の1剖検例  
発地雅夫<sup>1</sup>，渡辺正秀(信州大学，<sup>2</sup>長野赤十字病院 病理)

5. 皮膚型PN様動脈炎が先行したBuerger病の1例

能勢真人<sup>1</sup>，藤井博司<sup>1</sup>，高梨哲生<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>愛媛大学医学部 病理学第2，<sup>2</sup>道後温泉病院 内科)

6. 側頭動脈炎症状を呈したアレルギー性肉芽腫性血管炎(AGA)の1例

丸茂朋史，中林公正，関内真紀穂，有村義宏，山田 明，長澤俊彦

(杏林大学医学部 第1内科)

座長：増田弘毅(秋田大学) 13:00~14:00

7. 慢性肺炎に併発したisolated vasculitisの1症例

福村由紀，松本俊治，須田耕一(順天堂大学医学部 病理学第1)

8. 類結核肉芽腫の形成を伴い大動脈炎症候群が疑われた1例

小川弥生<sup>1</sup>, 佐藤英俊<sup>1</sup>, 田原正彦<sup>1</sup>, 高田明生<sup>1</sup>, 渡辺祝安<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>市立札幌病院 病理科, <sup>2</sup>同 心臓血管外科)

9. 壊死性血管炎の発症における胸腺の関与について

HTLV-I env-pX遺伝子導入ラットを用いた解析

石津明洋, 富居一範, 早瀬広子, 樋口正人, 辻 宗啓, 阿部麻美, 鈴木 昭, 高橋利幸, 池田 仁,  
吉木 敬(北海道大学大学院医学研究科 病態解析学講座分子病理学分野)

座長: 居石克夫(九州大学) 14:00 ~ 14:45

特別講演 動脈硬化と炎症

渡辺照男(佐賀医科大学副学長)

座長: 由谷親夫(国立循環器病センター) 15:00 ~ 16:20

10. *In situ* 内皮幹細胞は存在するのか. 血流増大による動脈内皮細胞増殖との関連について

小松正代<sup>1</sup>, 南條 博<sup>1</sup>, 小林実貴夫<sup>1</sup>, 川村公一<sup>1</sup>, 庄 永傑<sup>2</sup>, Chengpei Xu<sup>2</sup>, Christopher K Zarins<sup>2</sup>, 増田弘毅<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>秋田大学医学部 第2病理, <sup>2</sup>スタンフォード大学 血管外科学)

11. 冠状動脈硬化巣におけるC-reactive protein発現の検討

畠山金太<sup>1</sup>, 石川哲憲<sup>2</sup>, 浅田祐士郎(<sup>1</sup>宮崎医科大学 第1病理学, <sup>2</sup>同 第1内科学)

12. Fibromuscular dysplasiaが疑われた全身性血管内膜肥厚動脈症の1剖検例

渡邊 信<sup>1</sup>, 高月清宜<sup>2</sup>, 能勢真人<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>神戸大学医学部 保健学科, <sup>2</sup>三木市民病院 内科, <sup>3</sup>愛媛大学医学部 第2病理)

13. 多発性動脈瘤をきたした脳動脈のFibromuscular dysplasiaの1例

中島 豊<sup>1</sup>, 居石克夫<sup>1</sup>, 佐竹立成<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院 病理病態学, <sup>2</sup>名古屋掖済会病院 病理部)

座長: 中島 豊(九州大学) 16:20 ~ 17:20

14. 多発性脳梗塞で発症し, 矢外套症候群に至ったIntravascular malignant lymphomaの1例

池田善彦, 由谷親夫(国立循環器病センター 臨床検査部病理)

15. 未破裂腹腔動脈瘤の病理組織像

平川栄一郎<sup>1</sup>, 山本康子<sup>1</sup>, 辻 和宏<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>香川県立医療短期大学 臨床検査学科, <sup>2</sup>屋島総合病院 外科)

16. 日本におけるsegmental arterial mediolysis(SAM)について

稲田 潔<sup>1</sup>, 池田庸子<sup>1</sup>, 平川栄一郎<sup>2</sup>, 下川邦泰<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>松波総合病院, <sup>2</sup>香川医療短期大学, <sup>3</sup>岐阜大学医学部 臨床検査医学講座)

第8回血管病理研究会(会長: 増田弘毅)

期 日: 平成15年10月18日(土)10:00 ~ 17:20

会 場: 秋田県総合保健センター

プログラム

座長: 坂田則行(福岡大学) 10:00 ~ 11:20

1. High flow regulates carotid endothelial and smooth muscle cell bioactivity and vascular remodeling

Eiketsu Sho, Hiroshi Nanjo, Mien Sho, Masato Takahashi, Hirotake Masuda

(Department of Pathology, Akita University School of Medicine, Akita, Japan)

2. *In-vivo*イメージングによる腎微小血管傷害の解析

鈴木和男<sup>1</sup>, 長尾朋和<sup>1</sup>, 越尾 修<sup>1, #</sup>, 馬淵綾子<sup>1, \$</sup>, 大野尚仁<sup>2</sup>, 高橋 哲<sup>3</sup>, 南谷晴之<sup>4</sup>, 直江史朗<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>国立感染症研究所 生物活性物質部, <sup>2</sup>東京薬科大学 薬学部, <sup>3</sup>東邦大学大橋病院,

<sup>4</sup>慶應義塾大学 院基理工, <sup>#</sup>現: 帝京大学医学部, <sup>5</sup>現: オタゴ大学)

3. 頭蓋内外動脈に多発した分節性動脈中膜融解の1症例  
坂田則行<sup>1</sup>, 清水一彦<sup>2</sup>, 小島 勝<sup>3</sup>, 正和信英<sup>4</sup>, 鈴木慶二<sup>5</sup>, 高玉真光<sup>6</sup>  
(<sup>1</sup>福岡大学医学部 病理, <sup>2</sup>足利赤十字病院 病理, <sup>3</sup>群馬県立がんセンター 病理, <sup>4</sup>獨協医科大学 病理, <sup>5</sup>群馬大学医学部 保健学科, <sup>6</sup>老人病研究所)
4. Segmental arterial mediolysis (SAM)における静脈病変について  
稲田 潔<sup>1</sup>, 池田庸子<sup>2</sup>, 下川邦泰<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>松波総合病院 外科, <sup>2</sup>同 病理, <sup>3</sup>岐阜大学医学部 臨床検査医学講座)  
座長: 由谷親夫(国立循環器病センター) 11:20~12:20
5. Heterogeneity of smooth muscle cell populations cultured from pig coronary artery  
Hiroyuki Hao, Hatsue Ishibashi-Ueda, Yoshihiko Ikeda, Keiko Ohta, Chikao Yutani  
(Department of Pathology, National Cardiovascular Center, Osaka)
6. Vasa vasorumの閉塞機転によりAnnuloaortic ectasiaと大動脈弁閉鎖不全症をきたしたと思われる症例  
石津明洋<sup>1</sup>, 村上達哉<sup>2</sup>, 高木陽一<sup>3</sup>, 吉木 敬<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究科 病態解析学講座分子病理学分野, <sup>2</sup>王子総合病院 心臓血管外科, <sup>3</sup>同 循環器内科)
7. Percu Surgeの回収物より血管炎の存在が示唆された24歳の若年発症急性心筋梗塞の1例  
鈴木健之(京都第二赤十字病院 循環器科)  
座長: 佐藤英俊(市立札幌病院) 11:00~12:00
8. 皮膚結節性多発動脈炎の1例  
高橋 基, 豊田愛子, 長谷川道子, 田村敦志, 石川 治  
(群馬大学大学院医学系研究科 皮膚病態学)
9. 肺病変で発症し, 経過中多彩な臨床症状を呈したWegener肉芽腫の1例  
小川弥生<sup>1</sup>, 佐藤英俊<sup>1</sup>, 高田明生<sup>1</sup>, 田原正彦<sup>1</sup>, 向井正也<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>市立札幌病院 病理科, <sup>2</sup>同 免疫血液内科)
10. 突然死の剖検で感染性心内膜炎に続発した上腸間膜動脈瘤破裂が判明した1例  
森 大輔<sup>1</sup>, 岡田恵一朗<sup>1,2</sup>, 富永正樹<sup>3</sup>, 徳永 藏<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>佐賀医科大学 病因病態科学, <sup>2</sup>佐賀社会保険病院, <sup>3</sup>佐賀県立病院好生館)  
座長: 増田弘毅(秋田大学) 14:30~15:15  
特別講演 血流の力学と血管病変  
山口隆美(東北大学大学院工学研究科 バイオロボティクス専攻)  
座長: 松本俊治(順天堂大学) 15:30~16:50
11. 所謂ANCA-double negative, 組織学的にMPAと考えられる症例の検討  
佐藤英俊, 高田明生, 小川弥生, 田原正彦, 吉田雅治  
(市立札幌病院 病理科, 東京医大八王子医療センター 腎臓科)
12. 限局型結節性多発動脈炎6例の病理学的検討  
松本俊治(順天堂大学医学部 病理学第1講座)
13. 腸穿孔を来した末梢動脈炎型悪性関節リウマチの1例  
福岡利仁, 関内真紀穂, 神谷康司, 中林公正, 長澤俊彦(杏林大学医学部 第1内科)
14. Candida albicans菌体成分による血管炎誘発モデル骨髄キメラマウスを用いた検討  
高橋 哲<sup>1</sup>, 大原関利章<sup>1</sup>, 直江史朗<sup>1</sup>, 大野尚仁<sup>2</sup>, 南條 博<sup>3</sup>, 増田弘毅<sup>3</sup>, 日下部守昭<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>東邦大学大橋病院 病理学講座, <sup>2</sup>東京薬科大学薬学部 免疫学教室, <sup>3</sup>秋田大医学部 病理学第2講座, <sup>4</sup>アロカ株式会社 ANB筑波研究所)

第9回血管病理研究会(会長:中林公正)

期日:平成16年10月23日(土)9:30~17:20

会場:日本都市センター会館 6F

プログラム

座長:福田純也(ピーシーエル)9:30~10:15

1. 下肢に難治性潰瘍を繰り返し, Buerger病と考えられた女性症例  
大和恒恵, 中林公正, 有村嘉宏, 山田 明, 長澤俊彦(杏林大学医学部 第1内科)
2. 治療法の進歩に伴うループス腎炎の組織像の変貌: 剖検例の病理学的検討  
松本俊治, 今 高之, 阿部 寛, 小倉加奈子, 須田耕一, 橋本博史  
(順天堂大学医学部 病理学第1, 同 膠原病内科)
3. 混合性結合織病(MCTD)による悪性高血圧の1例  
伊藤建二, 兼岡秀俊, 武田誠司, 村田敏晃, 小河原悟, 笹富佳江, 斉藤喬雄, 上杉憲子  
(福岡大学医学部 内科学第4, 同 病理学)

座長: 由谷親夫(岡山理科大学理学部 臨床生命科学科)10:15~11:00

4. PETと血管炎  
沼野藤夫, 小林 靖, 渡辺一夫  
(東京血管疾患研究所, 東京医科歯科大学 内科, 脳神経疾患研究所)
5. 巨細胞性動脈炎の診断に<sup>18</sup>F-FDG PETが有用であった1症例  
羽田謙吾, 松井伴衣, 蓑田清次, 他11名, 野首光弘, 田中 享, 染谷 勉  
(自治医科大学 アレルギー・リウマチ, 病理学, 芳賀赤十字病院)
6. Fibromuscular dysplasiaと考えられた多発性腹部内臓動脈瘤の1例  
平川栄一郎, 辻 和宏  
(香川県立保健医療大学 臨床検査学科病理, 屋島総合病院 外科)

座長: 吉木 敬(ジェネティックラボ)11:00~11:45

7. Segmental arterial mediolysis(SAM) 最近の4例と34集計例の総括  
稲田 潔, 池田庸子(松波総合病院 外科・病理)
8. Segmental arterial mediolysis類似の所見を呈した嚢胞状動脈瘤形成の1例  
服部英明, 曾我隆義, 笠原雅正男(静岡赤十字病院 リウマチ膠原病科, 病理部)
9. 右鎖骨下動脈分岐血管の破裂をきたしたvon Recklinghausen's diseaseの1症例  
石津明洋, 村上達哉, 吉木 敬  
(北海道大学大学院医学研究科 病態解析学講座分子病理学分野, 王子総合病院 心臓血管外科, ジェネティックラボ)

座長: 中林公正(杏林大学医学部 第1内科)13:00~14:00

特別講演 わが国における血管炎の研究と臨床の歩み 内科医の立場より

長澤俊彦(杏林大学学長)

座長: 居石克夫(九州大学大学院 病理病態学)14:00~14:45

10. 血流負荷ウサギ総頸動脈における血管内皮細胞の増殖における内皮前駆細胞および一過性増殖内皮細胞の関与について  
高橋正人, 山内美佐, 北村俊晴, 小林実貴夫, 南條 博, 川村公一, 増田弘毅  
(秋田大学医学部 病理病態医学)
11. 心冠動脈硬化巣外膜側における炎症細胞の分布の検討  
渡邊 信, 石川雄一, 田中里美, 福永多紀子(神戸大学医学部 保健学科)
12. 冠動脈に硬化巣におけるCD39/ecto-ATPase発現の検討

- 畠山金太, 浅田祐士郎( 宮崎大学医学部 第1病理学講座 )  
 座長: 増田弘毅( 秋田大学医学部 病理病態医学 )14:45 ~ 15:00
13. 粥腫の進展及び安定化に対するG-CSFの影響  
 波多野弁, 楠美嘉晃, 三俣昌子, 松本太郎, 福田 昇  
 ( 自衛隊中央病院 病理課, 日本大学医学部 病理学, 同 細胞再生・移植医学, 同 循環器内科 )
14. ヒト冠動脈石灰化巣における酸化ストレスの存在  
 楠美嘉晃, 三俣昌子, 波多野弁, 末吉純久( 日本大学医学部 病理学, 自衛隊中央病院 病理課 )
15. 抗カルジオリピン抗体陽性のSLE患者で剖検で急性心筋梗塞を確認しえた1例  
 佐野淑江, 湯村和子, 板橋美津代, 内田啓子, 二瓶 宏( 東京女子医科大学 第4内科 )  
 座長: 能勢真人( 愛媛大学医学部 病因・病態学講座 )15:45 ~ 16:30
16. 多臓器の血管炎を認め治療抵抗性であったWegener肉芽腫症の1例  
 田村直人, 縄田益之, 山路 健, 小林茂人, 橋本博史, 能坂利夫  
 ( 順天堂大学医学部 膠原病内科, 病理学第1 )
17. ANCA関連腎炎96例の集計  
 佐藤英俊, 高田明生, 小川弥生, 田中 敏( 市立札幌病院 病理科 )
18. 筋・神経生検にて小血管のフィブリノイド型血管を認めた塵肺併発MPO-ANCA関連血管炎の1例  
 高良洋平, 吉田雅治, 吉川憲子, 渡邊妙子, 中林 巖, 明石真和, 望月 眞  
 ( 市立札幌病院 病理科 )  
 座長: 小泉富美朝( 前富山医科薬科大学 第2病理 )16:30 ~ 17:15
19. 種々の消化器病変を有したアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例  
 多喜博史, 篠田晃一郎, 他4名, 折原正周, 浅野幸恵, 石澤 伸, 小泉富美朝  
 ( 富山医科薬科大学 第1内科, 第3内科, 皮膚科, 第2病理 )
20. アレルギー性肉芽腫性血管炎の1例  
 高橋 基, 長谷川道子, 青山久美, 田村敦志, 石川 治( 群馬大学大学院 皮膚病態学 )
21. 著明な石灰沈着を伴う脳血管炎の1例  
 松本俊治( 順天堂大学医学部 病理学第1 )

第10回血管病理研究会( 会長: 坂田則行 )

期 日: 平成17年10月22日( 土 )9:30 ~ 17:00

会 場: 福岡大学セミナーハウス セミナー室A

プログラム

座長: 徳永 藏( 佐賀大学 ) 9:30 ~ 10:15

1. キャピラリー等速電気泳動法によるLDL酸化測定  
 張 波, 齋藤由理, 朔啓二郎( 福岡大学病院 循環器科 )
2. 冠動脈硬化巣におけるチオレドキシンと酸化リポ蛋白発現の検討  
 西平賢作<sup>1</sup>, 畠山金太<sup>2</sup>, 淀井淳司<sup>3</sup>, 浅田祐士郎<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>宮崎大学医学部 第1内科, <sup>2</sup>同 病理学講座構造機能病態学分野, <sup>3</sup>京都大学 ウイルス研究所  
 生体応答学研究部門感染防御研究分野 )
3. 心筋梗塞ラットモデルにおける心リモデリングに対する合成HDLの効果  
 木谷嘉博<sup>1</sup>, 三浦伸一郎<sup>1</sup>, 上原吉就<sup>1</sup>, 今泉 聡<sup>1</sup>, 阿部智美<sup>1</sup>, 松尾佳野<sup>1</sup>, 浦田秀則<sup>2</sup>, Kerry-Anne Rye<sup>3</sup>,  
 朔啓二郎<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>福岡大学病院循環器科, <sup>2</sup>福岡大学筑紫病院第1内科, <sup>3</sup>Heart Research Institute in Australia )

座長：浅田祐士郎(宮崎大学) 10:15～11:15

4. Effects of G-CSF on atherosclerosis  
Matsumoto T,<sup>1</sup> Watanabe H,<sup>1</sup> Hatano B,<sup>2</sup> Obikane H,<sup>2</sup> Kusumi Y,<sup>2</sup> Mugishima H,<sup>1</sup> Mitsumata M<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Division of Cell Regeneration and Transplantation, <sup>2</sup>Department of Pathology, Nihon University, School of Medicine)
5. マウス虚血下肢へのFGF-2遺伝子治療におけるVEGF-C/Flt-4関連ならびにPDGF-BB/PDGFR-β関連のパラクライン的相互作用の重要性  
鬼丸満穂, 米満吉和, 居石克夫(九州大学大学院医学研究院 病理病態学)
6. 血流負荷ウサギ総頸動脈における内皮細胞の増殖とアポトーシス  
高橋正人<sup>1</sup>, 吉田 誠<sup>1</sup>, 小林実貴夫<sup>1</sup>, 川村公一<sup>1</sup>, 南條 博<sup>2</sup>, 増田弘毅<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>秋田大学医学部 病理病態医学講座器官病態学分野, <sup>2</sup>同 病理部)
7. 多発性嚢胞腎における腎内血管平滑筋の異常についての検討  
佐藤光博, 堀田 修, 田熊淑男(仙台社会保険病院 腎センター)

座長：佐藤英俊(市立札幌病院) 11:15～12:00

8. PR3-ANCA陽性の半月体形成性腎炎患者にサイトメガロ腸炎を合併した1症例  
湯村和子<sup>1</sup>, 堀田 茂<sup>2</sup>, 板橋美津世<sup>1</sup>, 水谷麻由子<sup>1</sup>, 武井 卓<sup>1</sup>, 内田啓子<sup>1</sup>, 新田孝作<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京女子医科大学 第4内科, <sup>2</sup>腎臓病総合医療センター 病理検査室)
9. 肥厚性硬膜炎を伴った血管炎症候群の5例  
小林茂人<sup>1,2</sup>, 田村直人<sup>2</sup>, 吉留嘉人<sup>2</sup>, 梁 広石<sup>2</sup>, 深沢 徹<sup>2</sup>, 津田裕士<sup>2</sup>, 高崎芳成<sup>2</sup>, 橋本博史<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学医学部 附属越谷病院, <sup>2</sup>順天堂大学医学部 膠原病内科)
10. 生体腎移植術10年後脳出血により死亡した全身型ウェゲナ - 肉芽腫症の1剖検例  
中林 巖<sup>1</sup>, 吉田雅治<sup>1</sup>, 渡辺妙子<sup>1</sup>, 明石真弘<sup>1</sup>, 吉川憲子<sup>1</sup>, 高良洋平<sup>1</sup>, 内山正美<sup>2</sup>, 松野直徒<sup>2</sup>, 長尾 恒<sup>2</sup>, 増田 茂<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>東京医科大学八王子医療センター 腎臓内科, <sup>2</sup>同 臓器移植外科, <sup>3</sup>同 病理診断部)

座長：能勢真人(愛媛大学) 13:00～13:45

11. Isolated Necrotizing Arteritisの病理学的研究  
松本俊治(順天堂大学医学部 病理学第1)
12. PCH (pulmonary capillary hemangiomatosis)を認めたCREST症候群の1例  
大和恒恵<sup>1</sup>, 有村義宏<sup>1</sup>, 中林公正<sup>1</sup>, 山田 明<sup>1</sup>, 藤野 節<sup>1</sup>, 藤岡保範<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>杏林大学医学部 第1内科, <sup>2</sup>同 病理学)
13. 手指壊疽を来した木村病の1例  
簗田清次, 長嶋孝夫, 上村 健, 奈良浩之, 岩本雅弘, 岡崎仁昭  
(自治医科大学 アレルギーリウマチ科)

座長：由谷親夫(岡山理科大学) 13:45～14:30

14. 発症1日後に虫垂切除術が施行された川崎病の1例  
佐々木俊樹<sup>1</sup>, 高橋正人<sup>2</sup>, 南條 博<sup>3</sup>, 増田弘毅<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>秋田組合総合病院 病理診断科, <sup>2</sup>秋田大学医学部 病理病態医学講座器官病態学分野, <sup>3</sup>秋田大学医学部附属病院 病理部)
15. 冠状動脈瘤破裂を示した川崎病の1剖検例  
提嶋真人<sup>1</sup>, 増田弘毅<sup>2</sup>, 直江史郎<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>市立秋田総合病院 臨床病理科, <sup>2</sup>秋田大学医学部 病理病態医学講座器官病態学分野, <sup>3</sup>東邦大学大橋病院 病理学講座)
16. コレステロール塞栓症による多臓器不全で死亡した3剖検例の検討

伊藤建二<sup>1</sup>，兼岡秀俊<sup>1</sup>，笹富佳江<sup>1</sup>，村田敏晃<sup>1</sup>，小河原悟<sup>1</sup>，斉藤喬雄<sup>1</sup>，川上豪仁<sup>2</sup>，上杉憲子<sup>2</sup>，  
坂田則行<sup>2</sup>，森 超夫<sup>3</sup>，冷牟田浩司<sup>3</sup>，中島 収<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>福岡大学医学部 内科学第4，<sup>2</sup>福岡大学医学部 病理学，<sup>3</sup>九州医療センター 循環器科，  
<sup>4</sup>九州医療センター 病理)

座長：吉田洋二(山梨大学) 14:30～15:15

特別講演 リポ蛋白系球体症の病態

斉藤喬雄(福岡大学 内科学第4 講座教授)

座長：増田弘毅(秋田大学) 15:30～16:15

17. 肺気腫加療中，急性肺出血で死亡した肺動脈fibromuscular dysplasia の1 剖検例

能勢真人<sup>1</sup>，有田典正<sup>1</sup>，岩崎美津子<sup>1</sup>，榎本大次郎<sup>2</sup>，濱田泰伸<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>愛媛大学医学部 病因・病態学講座ゲノム病理学分野，<sup>2</sup>同 内科学第2 講座)

18. Segmental Arterial Mediolysis 50例の検討 SAMとFMDの関連

稲田 潔，池田庸子(松波総合病院 外科・病理)

19. 脾動脈に発生し，腹腔内出血以外の臨床所見を呈したSegmental Arterial Mediolysis(SAM)の2 例

石津明洋<sup>1</sup>，山口 潤<sup>2</sup>，岩井和浩<sup>3</sup>，近藤信夫<sup>2</sup>，佐藤英俊<sup>2</sup>，吉木 敬<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>北海道大学医学部 保健学科検査技術科学専攻病理形態機能学分野，<sup>2</sup>GLab病理解析センター，  
<sup>3</sup>王子総合病院 外科，<sup>4</sup>株式会社ジェネティックラボ)

座長：居石克夫(九州大学) 16:15～17:00

20. メンケス病にみられた脾動脈および腸間膜動脈瘤

小池英介，徳永 蔵(佐賀大学医学部 病因病態科学講座)

21. ウイルス感染の関与が疑われた上行大動脈瘤の1 例

宮崎龍彦，能勢真人(愛媛大学医学部 病因・病態学講座 ゲノム病理学分野)

22. 炎症性腹部大動脈瘤の形成における筋線維芽細胞の関与

坂田則行<sup>1</sup>，鍋島一樹<sup>1</sup>，岩崎 宏<sup>1</sup>，財津龍二<sup>2</sup>，田代 忠<sup>2</sup>，上杉憲子<sup>3</sup>，中島 収<sup>3</sup>，伊藤哲行<sup>4</sup>，  
川浪武美<sup>5</sup>，古谷清美<sup>6</sup>，小島 勝<sup>7</sup>

(<sup>1</sup>福岡大学医学部 病理，<sup>2</sup>同 心臓血管外科，<sup>3</sup>九州医療センター 病理，<sup>4</sup>同 血管外科，  
<sup>5</sup>同 心臓外科，<sup>6</sup>同 放射線科，<sup>7</sup>群馬県立がんセンター 病理)

追加演題1 FGF-2誘導機能的血管新生におけるMCP-1/CCR2システムの検討

藤井孝明<sup>1</sup>，米満吉和<sup>1</sup>，鬼丸満穂<sup>1</sup>，谷井 貢<sup>1</sup>，江頭健輔<sup>2</sup>，居石克夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>九州大学大学院 医学研究院病理病態学，<sup>2</sup>同 循環器内科学)

追加演題2 肺にフィブリノイド血管炎を伴って死亡した肺高血圧症の1 例

原発性肺高血圧症(PPH)と膠原病肺高血圧症との鑑別

澤井高志<sup>1</sup>，菅野祐幸<sup>1</sup>，鎌滝章央<sup>1</sup>，和田龍一<sup>2</sup>，八木橋操六<sup>2</sup>，佐藤 工<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>岩手医科大学 第1 病理，<sup>2</sup>弘前大学医学部 第1 病理，<sup>3</sup>同 第1 内科)